

三浦工業株式会社

本社/松山市堀江町7 〒799-2696

URL: <http://www.miuraz.co.jp>

発行日 2014年6月23日

船用補助ボイラ用 700cSt 対応小型バーナ開発

小型貫流ボイラのトップメーカーである三浦工業株式会社(本社 愛媛県松山市 社長 高橋祐二)では、このたび、船用コンポジットボイラ・小型補助ボイラに搭載する高粘度燃料油対応バーナを開発したことを発表します。

近年、化石燃料の価格上昇の影響から船舶で用いられる燃料油として高粘度の残渣油を使用する要望が高まっています。これまで小容量のバーナでは高粘度残渣油の燃焼が困難なことから動粘度 350cSt*1 までを標準としてきました。三浦工業ではこの度、動粘度 350cSt(50℃の条件下) *2 から、船用燃料規格の上限となる 700cSt(50℃の条件下)までの高粘度の残渣油が燃焼可能な小型*3 バーナを開発しました。

【特長】

- ・リターン式の圧力噴霧ノズルを用いることにより、良好な燃焼に必要なとされる燃料油温度を均一化できます。
- ・小型バーナでは使用例が少ない(当社比)、比例制御方式を採用することにより燃焼効率の改善が期待できます。
- ・燃焼可能範囲を従来の 50%と 100%から 33%~100%で4段階に拡張することで、着火回数が低減され、効率的なボイラ稼働が実現できます。
- ・燃焼時の起動停止に伴う掃気損失が低減されるため、燃焼消費量の削減が可能です。
- ・燃焼性能が向上することにより、バーナのメンテナンスサイクルを延長することができ、乗組員の作業の軽減が期待できます。

今回開発した小型バーナは、船用燃料規格 700cSt を用いた実燃焼試験で良好な燃焼性能が確認され次第、2014年度内に実証確認をいたします。2016年度より船用コンポジットボイラ GK 型、小型補助ボイラ VWH 型に搭載し販売する計画です。

【バーナ仕様】

- 定格出力 700kW~10500kW 4モデル (コンポジットボイラ蒸発量 800kg/h~1600kg/h に相当)
- 燃焼方式 戻り油式圧力噴霧バーナ
- 制御方式 比例制御
- 燃焼範囲 1:3 (TDR*4)

*1 動粘度は同一条件下(温度、圧力)において、粘度計の毛細管内を流出する時間(秒)と粘度計定数によって求められる数値。数値が大きいほど粘りが強くなる。cSt(センチストークス)= 粘度をあらわす単位

*2 当社による船用燃料粘度標準は 350cSt (50℃の条件下)

*3 蒸発量 800Kg/h~1600kg/h

*4 ターンダウン比…バーナの定格燃料流量に対する最小燃料流量の比

以上

▼お問い合わせ先

三浦工業株式会社 ブランド企画室 TEL:089-979-7019 FAX:089-979-7126

Mail: burandokikakushitsu@miuraz.co.jp